

# Mitsui Fudosan

三井不動産 Story

ひとりのママ社員が育休中に、  
小さくて大きな革命をはじめちゃいました。

久しぶりの外出だった。

小さな息子をベビーカーにのせて、

気兼ねしなくてすむショッピングモールに行った。

小さなことがストレスだった。

授乳室が妙に暑いとか、

トイレにベビーカーが入らないとか、

オムツがきれて丸ごと買うはめになったとか、

アツアツの麺をフードコートで運べないとか。

それでも街に比べたらずいぶん楽なはずだと気持ちをなだめた。

でもだめだった。なんとかしたいという気持ちが強くなった。

育休中に30枚の企画書をまとめた。

「ママのための優しい三井ショッピングパーク」

プロジェクトはららぽーと和泉から始まった。

社内のママたちが集まった。

採用された100以上のアイデアは、

とてもリアルなものばかりだった。

広い親子トイレ、ポーターサービス、

バラ売りのオムツ、ゆったりした駐車場。

そして、本当にくつろげるフードコートはこの名物だ。

小あがりやで赤ちゃんはゆっくり昼寝をしている。

専任スタッフが食事を配膳してくれる。

優しい陽射しのなかで家族が談笑する。

小さなストレスから解消されるとこんなに気持ちは軽くなる。

ららぽーと和泉から始まった、この「ママwithららぽーと」。

ママ社員たちの経験が、ママたちの笑顔になりはじめている。

いい街には、物語がある。

